

このメールは大田区の配信情報提供サービスに登録されている方に送信しています。

大田区保健所メール 2月号 令和8年1月28日

【 目 次 】

- 1 感染症情報
- 2 食中毒発生状況
- 3 トピックス
「令和8年度大田区食品衛生監視指導計画(案)」に対する意見募集
- 4 特集
知っておきたい薬の知識

1 感染症情報

◆感染症の最新情報はこちらから◆

↓ ↓ ↓

○大田区「感染症週報」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/syuuhou.html

◆◆◆感染症流行状況について◆◆◆

インフルエンザは第52週（12月22日から12月28日）10.05から第2週（1月5日から1月11日）5.52と減少しています。感染性胃腸炎は第1週、第2週ともに8.92と横ばい、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は第52週5.85から第2週2.15と減少していますが、どちらも1年前の同時期より発生数が多くなっています。年末年始の医療機関休診の影響も考えられますので、定点の数値は参考値となりますが、引き続き感染拡大に注意が必要です。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（溶連菌感染症）】

A群溶血性レンサ球菌による上気道の感染症です。症状としては、38°C以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌、嘔吐などがあります。

3日から5日以内に熱は下がり、1週間以内に症状は改善します。まれに重症化し、のどや舌、全身に発赤が広がる「猩紅熱（しょうこうねつ）」に移行することがあります。

発症時は、抗菌薬で治療を行います。腎炎などの合併症を防ぐために、主治医に指示された期間、薬を飲むことが大切です。

咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込んだり、細菌がついた手で口や鼻に触ることで感染します。こまめな手洗い、咳やくしゃみをするときは口と鼻をティッシュなどでおおうなどの咳エチケットを心がけましょう。

○大田区ホームページ「A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（溶連菌感染症）」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hoka_kansensyo/yorenkin.html

【感染性胃腸炎】

感染性胃腸炎は微生物を原因とする胃腸炎の総称です。主な原因微生物は「ノロウイルス」「ロタウイルス」「アデノウイルス」などがあり、特に、ノロウイルスは秋から冬に流行します。主な症状は吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛などがあります。子どもではおう吐、大人では下痢が多いです。特別な治療はないため、対処療法が行われます。乳幼児や高齢者は下痢等で脱水症状を来たすことがあります。

■予防のポイント(1)手洗い

トイレの後や、調理・食事の前に石けんと流水で十分に手を洗いましょう。下痢を呈している方のオムツ交換は、手袋をして行い、手袋をはずした後は必ず手洗いを行いましょう。

■予防のポイント(2)調理

ノロウイルスによる食中毒を防ぐため、食品は中心部までしっかりと加熱しましょう。カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部 85°C以上で、1分間以上加熱してください。また、調理器具は洗剤を使用し十分に洗浄し、二次汚染による感染を予防しましょう。

■予防のポイント(3)消毒

ノロウイルスはアルコール消毒の効果が低いため、次亜塩素酸ナトリウム溶液を使いましょう。環境消毒(トイレのドアノブや手すり等)には 0.02%、おう吐物や便が付着した場合の処理には 0.1%に希釀した消毒液を使用しましょう。具体的な方法はこちらをご覧ください。

○大田区「感染性胃腸炎（ノロウイルスを中心に）」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/noro.html

◆◆◆年末年始に海外渡航された方、今後渡航される方へ◆◆◆

年末年始の長期休暇を利用して、海外へ渡航された方も多いかと思います。海外では、国内には常在しない感染症や、国内よりも高い頻度で発生している感染症が報告されています。感染症には潜伏期間があり、帰国後すぐに症状が出ないものもあります。海外旅行、特に発展途上国を旅行した後、少なくとも 6か月間は、旅行関連の感染症が生じる可能性があります。

医療機関にかかる際には、渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での活動内容、動物との接触の有無、ワクチン接種歴などについて必ず伝えた上で、受診してください。

○厚生労働省検疫所（FORTH）「旅行から帰って」

<https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/attention05.html>

○厚生労働省検疫所（FORTH）「海外へ渡航される皆さんへ！」

https://www.forth.go.jp/news/20220722_00001.html

2 食中毒発生状況

■大田区の食中毒発生状況

令和7年12月に食中毒は発生していません。

■東京都の食中毒発生状況

令和7年12月に、4件（患者44名）の食中毒が発生しました（令和7年12月31日現在）。食中毒の病原物質はウエルシュ菌1件（患者33名）、ノロウイルス2件（患者10名）、アニサキス1件（患者1人）でした。原因施設はウエルシュ菌が集団給食（要許可）、ノロウイルスとアニサキスは全て飲食店（一般）でした。

○東京都「都内の食中毒発生状況（速報値）」

https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/tyuudoku/r7_sokuhou.html

3 トピックス

■「令和8年度大田区食品衛生監視指導計画(案)」に対する意見募集

～皆さまのご意見を計画に反映させませんか～

区では、区民の皆さまの日々の「食の安全・安心」を守るため、「令和8年度大田区食品衛生監視指導計画」を策定します。つきましては、本計画(案)について、皆さまからのご意見を募集します。

1 募集期間

令和8年2月2日（月）から同年2月20日（金）まで

2 本計画(案)の閲覧場所

区ホームページ、区政情報コーナー（区役所本庁舎2階）、生活衛生課（大森地域庁舎6階）

3 ご意見の提出方法

電子申請（フォーム回答）の場合は、以下リンクにアクセスし、必要事項をご入力の上、ご回答ください。

○電子申請

<https://logoform.jp/form/8BrJ/1405137>

郵送、ファックス若しくは直接窓口へ持参の場合は、以下リンク先の「意見提出用紙」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。

○大田区「令和8年度大田区食品衛生監視指導計画(案)に対する意見募集」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/eisei/shokuhin/ippan/keikaku/pubcome_syokuhin-eisei-shido.html

4 【特集】知っておきたい薬の知識

■ 「薬」正しく飲めていますか？

「薬」は病気やケガを治すのに役立つものです。しかし、使い方を誤ると逆に健康を害するおそれがあります。ご自身が正しく飲めているか、今一度確認してみませんか？

○薬の正しい使い方

1 適切なタイミングで

薬にはそれぞれ飲むタイミング（食前、食後、食間、就寝前など）が決められています。決められたタイミングに飲まないと、十分な効果が得られなかったり、副作用が生じたりすることもあります。

2 適切な量で

薬は多く飲めば、より効くというものではありません。多く飲むことで、中毒症状が現れることもあります。決められた量を守るようにしましょう。

3 適切な期間で

症状がおさまってきたからと言って、医師から処方された薬の服用を自己判断で中止してはいけません。処方された期間は服用を続けるようにしましょう。

4 適切な方法で

飲み薬は基本的に水（コップ1杯が目安です）と一緒に服用しましょう。水なしで飲むと、胃まで行く途中でひっかかって炎症を起こしたり、水の量が少ないと、効き目が悪くなることがあります。

また、アルコールやジュースなどで飲むと、思わぬ相互作用を生むこともあるので注意しましょう。

～さらに詳しく知りたい方へ↓～

○知っておきたい薬の知識

<https://www.pmda.go.jp/safety/consultation-for-patients/on-drugs/info/0001.html>

■持っていますか？かかりつけ薬局

大田区には400件近い薬局があります。在宅医療対応や日々の健康サポートなど、さまざまな特徴をもった薬局がありますので、気軽に相談できるようなかかりつけとなる薬局をぜひ探してみてください。

- ・医療情報ネット（ナビイ）

<https://www.iryou.teikyouseido.mhlw.go.jp/znk-web/juminkanja/S2300/initialize>

- ・区内の健康サポート薬局

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kenko_dukuri/other_joho/ousuri/kenkousupport-yakkyoku.html

★ 「手洗い実験キット」の貸し出しをしています

大田区保健所では「手洗い実験キット」の貸し出しを実施しています。普段行う手洗いの状況を目で見て確認することができます。

「手洗い実験キット」の貸し出しを希望される方は、電話またはオンライン申請（LoGo フォーム）による申し込みができます。

【電話の場合】

大田区保健所生活衛生課（5764-0698）にお問い合わせください。

【オンライン申請（LoGo フォーム）の場合】

<https://logoform.jp/form/8BrJ/949830>

詳しくはこちらへ↓大田区のホームページ

○ 「手洗い実験キット」の貸し出しをしています

<https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/eisei/shokuhin/ippan/tearai-kit.html>

登録情報の変更・配信停止は以下 URL からお願いします。

<http://hoken.jyo.city.ota.tokyo.jp/>

大田区保健所メールにご登録いただき、誠にありがとうございます。また、本メールの内容を充実させていきたいと考えております。

ご質問、ご意見、ご感想を以下のアドレスにお寄せください。

次号は、2月末に配信予定です。

eisei@city.ota.tokyo.jp 担当 高野 水野